

# 総務委員会資料

## 所管事務の調査（報告）

### （仮称）臨海部ビジョンの策定状況について

資料1-1 「（仮称）臨海部ビジョン」の策定状況について

資料1-2 川崎臨海部の目指すべき将来像

資料1-3 川崎臨海部の目指すべき将来像 概要版

平成29年5月26日

臨海部国際戦略本部

## 1 「（仮称）臨海部ビジョン」について

「（仮称）臨海部ビジョン」は、変化の激しい社会経済環境においても、川崎臨海部が持続的に発展する地域であり続けるために、「30年後を見据えた目指すべき将来像」と、その実現に向けた戦略や取組の方向性を示すため策定するものです。

平成28、29年度の2ヵ年をかけ策定することとしており、これまでの検討状況や今後の検討の方向性を今回「中間とりまとめ」として公表を行うものです。内容については、有識者や企業との会議、意見交換及び将来予測調査等に基づきとりまとめを行いました。

なお、策定にあたっては、現在直面している個々の課題に対し、30年後に想定される未来を踏まえた目指す臨海部像を設定し、共有したうえで、その実現策を検討するバックキャスト手法により策定します。

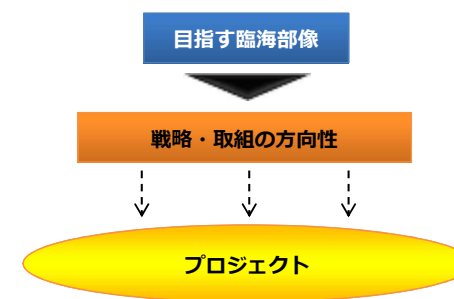
## 2 ビジョンの構成

ビジョンは、「目指す臨海部像」、「戦略・取組の方向性」、「プロジェクト」の三つの要素により構成します。

「目指す臨海部像」は、臨海部に係わる人が共有できる、30年後の将来像を表す言葉やイメージを設定します。

「戦略・取組の方向性」は、「目指す臨海部像」を実現するために、臨海部のどのような地域資源をどのように活用するのか、といった方策の方向性を設定します。「プロジェクト」は、「目指す臨海部像」を実現するために「戦略・取組の方向性」に基づき直近10年程度を目途に先導的・モデル的に取り組む具体的な実施内容を企画します。

なお、「プロジェクト」は、企業を主体に取り組むこと、連携により取り組むこと、行政を主体に取り組むことなどに分類し、「目指す臨海部像」の実現に向けて、企業や行政をはじめ関係者が力を合わせて取り組むものを企画します。



## 3 策定体制と検討状況

### 有識者懇談会

産業、環境、都市計画などの有識者及び市長等による懇談会

### 企業・有識者との意見交換

多様な分野の専門家や臨海部に関連する企業との意見交換、臨海部立地企業20社との研究会やワークショップを実施

### 庁内検討

市長を座長とする局長級会議、課長級会議のほか、検討テーマに関する庁内関係部署との意見交換などを実施

